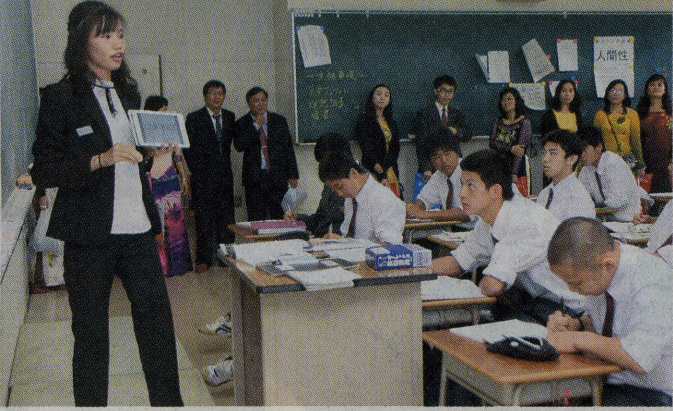


# 留学生の支援体制確認

ベトナム  
教育関係者  
鹿島学園高を視察

ベトナムの教育関係者一行が16日、鹿嶋市田野辺の鹿島学園高校（石塚孝男校長、生徒数707人）を訪



問し、教育実績や学校生活、留学生の受け入れ体制などの説明を受け、意見交換をした。同国からの留学生4人もサポート役に回った。

一行は同国のホーチミン市教育省関係者ら23人。来日後すぐに同校を視察。担当者から授業の進め方、進学や留学生の日本

英語の授業を見学するベトナムからの視察団＝鹿嶋市田野辺

語習得の支援体制などを確認し、英語や世界史の授業も見学した。

同校は2009年から本格的に留学生の受け入れを始め、現在、ベトナムや中国などから100人超の留学生が在籍している。4月

には、国際的に活躍できる人材育成を目指して、普通科のグローバルコースも設けた。

一行の代表者、同省のゲン・フィン・ロンさんは「大きく、いい学校だと思う。ベトナムから（日本に）

もっと学生を派遣したい。将来を担う学生が増えれば発展につながる」と感想を

語った。学校法人鹿島学園の大森伸一理事長は「ベトナムなどから本校に留学生が来ることで、生徒は刺激を受け、海外に目を向ける

よつになった」と効果を話した。

一行は同日、鹿嶋市立鹿島中学校も訪れた。その後は都内の中学・高校の視察のほか、観光スポットも回り20日に帰国予定。  
（小林久隆）